

実践！絵本の読み聞かせ

本プログラムのねらい

- ◎他の家庭で読まれている絵本を知り、紹介し合うことができる。
- ◎読み聞かせの効果的な方法を知り、読み聞かせに役立てることができる。

期待される効果

日頃から家庭で読み聞かせている人もそうでない人も、**楽しみながら絵本の読み聞かせを行う**ことができるようになる。

活動の様子

参加者が持参した絵本を使って、読み聞かせの練習をします。



ついにやってみよう



ページのめくり方にもコツがあったなんて…。ちゃんと内容を理解していたつもりだったのに…。



〇〇さんが持ってきてくれた絵本、面白かった！図書館で借りてこよう。



【準備物等】

- 自宅などにある絵本（各自持参）
- ・持参していない人用の絵本やおすすめの絵本などを準備

主な流れ

1 全体の場で、読み聞かせのやり方やコツを知る。

- ・聞き手には絵をよく見てもらう。 ・ページをめくった瞬間にすぐ読まない。
- ・声色を使う必要はなく、ゆっくり、はっきり読む。
- ・演技ではなく、お話の内容を楽しんでもらうことが大事。 など

2 グループごとに、コツを踏まえて、各自1冊読み聞かせを実演する。

- ※進行役は、一人あたりの時間を知らせておき、時間が来たら読み手を交代させていく。
- ※参加者がグループごとに読み聞かせを実演している間、進行役は、活動が停滞しているグループがないかなどに配慮する。

3 絵本や読み聞かせの感想等について、グループ内または全体で自由に話し合う。

運営上の留意点

講師は、図書館司書など、熟練の読み聞かせ経験者を！

読み聞かせは、場数を踏めば踏むほど上達します。聞き手の反応を見ながら読めるようになれば、家庭だけでなく、学校や図書館などのボランティアとしても活躍できるようになります。

